



2025年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月11日

上場会社名 株式会社 スリーエフ
コード番号 7544 URL <https://www.three-f.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 浩志
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括マネージャー (氏名) 六川 靖夫
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 045-651-2111

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	3,413	0.9	250	60.9	251	60.5	72	112.5
2024年2月期第1四半期	3,442	6.8	155		156		34	

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 179百万円 (91.8%) 2024年2月期第1四半期 93百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	9.63	
2024年2月期第1四半期	4.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	4,620	3,984	79.5
2024年2月期	4,987	4,164	72.9

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 3,672百万円 2024年2月期 3,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期		5.00		5.00	10.00
2025年2月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,900	1.9	400	15.1	410	13.5	80	28.2	10.56
通期	13,400	3.3	650	28.5	660	27.9	100	54.0	13.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	7,707,095 株	2024年2月期	7,707,095 株
期末自己株式数	2025年2月期1Q	132,703 株	2024年2月期	132,703 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	7,574,392 株	2024年2月期1Q	7,574,392 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年5月31日)におけるわが国経済は、国内の人流活性化とインバウンド需要を背景に消費の回復傾向が続いておりましたが、円安やエネルギー・原材料価格の高止まり等による物価上昇から実質賃金のマイナスは依然改善せず、急騰した株価も落ち着きを示すなど賃上げによる消費の活性化が待たれる、踊り場とも言える状況となっております。

コンビニエンスストア業界におきましては、さらにインバウンド需要が増加した一方、オーバーツーリズムなどからレジャーを控える動きもあり、売上は前年の伸長レベルから鈍化傾向にある中、店舗運営コストの増加への対応が必要な厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは、加盟店と同じ目線で一塊となって経営を推進していくために、中長期経営計画(2021年2月期～2027年2月期)において、「個店平均日販」と「加盟店利益」の継続的な向上を最重要指標と定め、「個店最適化」と「加盟店経営の安定化」を重点戦略とした各種施策に取り組むとともに、お客様の利用動向への変化対応を続けながら、目標達成に向けた取り組みを進めております。

当社グループ運営店舗の概況

[ローソン・スリーエフ]

株式会社エル・ティーエフが事業展開する「ローソン・スリーエフ」におきましては、人流増加が鈍化する中でも来店客数が伸長したことにより「個店平均日販」は引き続き前年を上回り好調に推移しております。また、「個店平均日販」の向上に加えて粗利益率の改善も伴ったことで、店舗運営コスト増加の環境下でありながら、「加盟店利益」につきましても堅調に推移しております。

運営面におきましては、加盟店の品揃え拡充や販売促進に対する経費支援を効果的に行うことで、お客様の利用動向の変化に合わせた個店別、カテゴリー別の品揃えを強化し、個店の最適化戦略(競合店に対する比較優位戦略)を推進してまいりました。

商品面におきましては、人流の増加やローソンチェーンの積極的な販売促進活動により、カウンターファストフードや米飯、デザートの上売が伸長しました。ローソン・スリーエフ独自商品につきましても、リニューアルした「やきとり」や新たに販売を開始した「ねぎとろ半熟たまご丼」などが売上を牽引したことに加え、「チルド弁当」や「もちぼによ」などの各種割引キャンペーンが売上の拡大と集客に寄与いたしました。なお、フードデリバリーサービスの導入店舗数は当第1四半期連結会計期間末時点において208店舗となっております。

店舗開発におきましては、新たな出店を行わず、2店舗の閉店を行った結果、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は326店舗となっております。また、転換から7年を経過した店舗に対して、設備機能の改善等を目的とした改装を順次行っております。引き続き、収益改善が見込めない店舗のリロケートを行うとともに、お客様の利便性向上を目的とした駐車場拡張等のハード改善も推進してまいります。

[g o o z (グーツ)]

コンビニエンスストアに対するニーズの多様化に対応するため、当社が新型フォーマットとして事業展開する「g o o z (グーツ)」におきましては、行楽需要の高まりを背景として来店客数が伸長したことにより、特にパークエリア店舗で日販が向上しております。

商品面におきましては、グーツコーヒーやおにぎり、総菜などの店内調理品の売上が引き続き好調に推移しております。お客様の利用動向の変化に合わせて、お求めやすい価格帯の商品から高付加価値の価格帯の商品まで幅広く品揃えしたことに加え、店内調理品として新たにカップおつまみや麺類の品揃えも積極的に行うことで、潜在ニーズの深耕にも努めてまいりました。

店舗開発におきましては、出店・閉店を行わず、当第1四半期連結会計期間末の総店舗数は3店舗となっております。なお、神奈川県平塚市のg o o z EXPRESS平塚PA店において2024年2月18日に火災事故が発生し、当第1四半期連結会計期間末時点において店舗改修工事中(店頭で移動販売車等による簡易営業を行ってまいりましたが、2024年6月より一部店内営業を再開)となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業総収入は、34億13百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は2億50百万円(前年同期比60.9%増)、経常利益は2億51百万円(前年同期比60.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純

利益は72百万円（前年同期比112.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の財政状態につきましては、前連結会計年度と比較して総資産は3億67百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少等によるものであります。

負債につきましては、1億87百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の減少等によるものであります。

純資産につきましては、1億80百万円の減少となりました。これは主に非支配株主への配当金の支払等による非支配株主持分の減少等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月11日に発表しました2025年2月期の連結業績予想について変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,075	3,658
商品	99	91
貯蔵品	0	0
前払費用	8	7
未収入金	198	254
その他	26	6
流動資産合計	4,408	4,019
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	25	24
工具、器具及び備品(純額)	0	3
土地	293	293
有形固定資産合計	319	321
投資その他の資産		
投資有価証券	41	40
敷金及び保証金	195	193
繰延税金資産	36	58
その他	36	26
貸倒引当金	△50	△39
投資その他の資産合計	260	279
固定資産合計	579	601
資産合計	4,987	4,620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52	51
未払金	189	207
未払法人税等	322	92
未払消費税等	105	77
預り金	13	13
賞与引当金	91	140
その他	14	22
流動負債合計	790	603
固定負債		
資産除去債務	9	9
長期預り保証金	18	18
その他	4	3
固定負債合計	32	32
負債合計	823	636
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	5,814	5,814
利益剰余金	△2,198	△2,163
自己株式	△86	△86
株主資本合計	3,629	3,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	7
その他の包括利益累計額合計	8	7
非支配株主持分	526	311
純資産合計	4,164	3,984
負債純資産合計	4,987	4,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	2,364	2,422
その他の営業収入	19	23
営業収入合計	2,383	2,445
売上高	1,058	967
営業総収入	3,442	3,413
売上原価	786	701
売上総利益	271	265
営業総利益	2,655	2,711
販売費及び一般管理費	2,500	2,461
営業利益	155	250
営業外収益		
受取利息	1	1
営業外収益合計	1	1
経常利益	156	251
税金等調整前四半期純利益	156	251
法人税、住民税及び事業税	78	92
法人税等調整額	△15	△21
法人税等合計	63	71
四半期純利益	93	180
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	107
親会社株主に帰属する四半期純利益	34	72

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	93	180
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
その他の包括利益合計	0	△0
四半期包括利益	93	179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34	72
非支配株主に係る四半期包括利益	58	107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。